

平成26年青森県工業統計調査結果書（概要版）

本結果書は、製造業の実態を明らかにすることを目的に、製造業の事業所を対象に、平成26年12月31日現在で実施された平成26年工業統計調査の青森県分について集計し、「平成26年青森県の工業」として取りまとめたものです。概要は以下のとおりです。

1 調査対象期間

平成26年1月1日から平成26年12月31日まで

2 調査の範囲

日本標準産業分類に掲げる大分類E—製造業に属する事業所(国に属する事業所及び従業者3人以下の事業所を除く。)を対象としている。

3 調査結果の概要

平成26年工業統計調査(従業者4人以上の事業所)による本県製造業は、製造品出荷額等が3年連続で増加、粗付加価値額が3年ぶりに増加したが、事業所数、従業者数は前年に比べ減少した。

○主要項目の状況(従業者4人以上の事業所)

項目	平成25年	平成26年	対前年増減数	前年比
事業所数	1,472事業所	1,449事業所	▲23事業所	▲1.6%
従業者数	55,647人	55,464人	▲183人	▲0.3%
製造品出荷額等	152,029,755万円	159,513,190万円	7,483,435万円	4.9%
粗付加価値額	63,361,142万円	64,753,746万円	1,392,604万円	2.2%

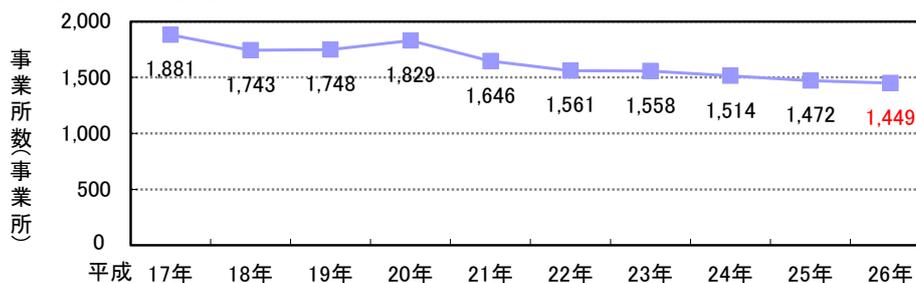
4 主要項目別の特徴

(1) 事業所数

事業所数は1,449事業所で、前年に比べ23事業所の減少(前年比▲1.6%)となり、6年連続の減少となった。

産業別では、全24産業のうち、パルプ・紙(対前年増減数1事業所)、窯業・土石(同1事業所)、生産用機械(同1事業所)など6業種で増加し、食料品(同▲9事業所)、木材・木製品(同▲5事業所)、印刷(同▲3事業所)など11業種で減少した。

図1 事業所数の推移

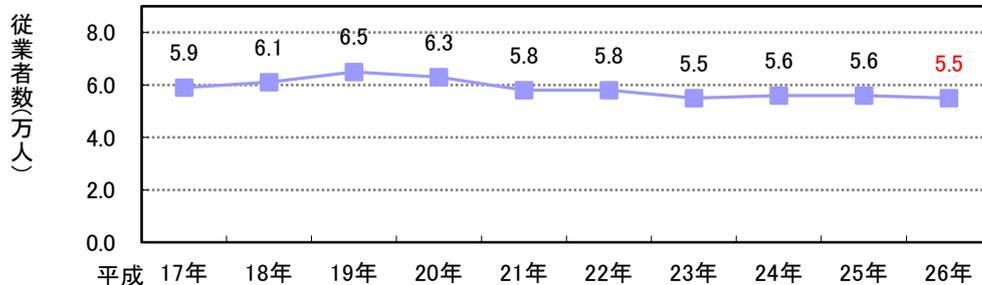


(2) 従業者数

従業員数は、55,464人で、前年に比べ183人の減少(前年比▲0.3%)となり、2年連続の減少となった。

産業別では、全24産業のうち、輸送用機械(対前年増減数106人)、業務用機械(同72人)、飲料・飼料(同70人)など11業種で増加し、繊維(同▲176人)、非鉄金属(同▲140人)、プラスチック製品(同▲129人)など12業種で減少した。

図2 従業者数の推移

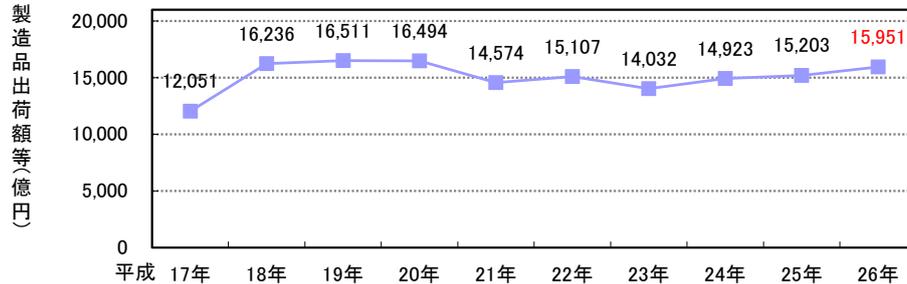


(3) 製造品出荷額等

製造品出荷額等は、1兆5,951億円で、前年に比べ748億円の増加(前年比4.9%)となり、3年連続の増加となった。

産業別では、全24産業のうち、電子部品(対前年増減額191億円)、食料品(同164億円)、鉄鋼(同144億円)など19業種で増加し、パルプ・紙(同▲59億円)、輸送用機械(同▲44億円)、情報通信(同▲4億円)の3業種で減少した。

図3 製造品出荷額等の推移



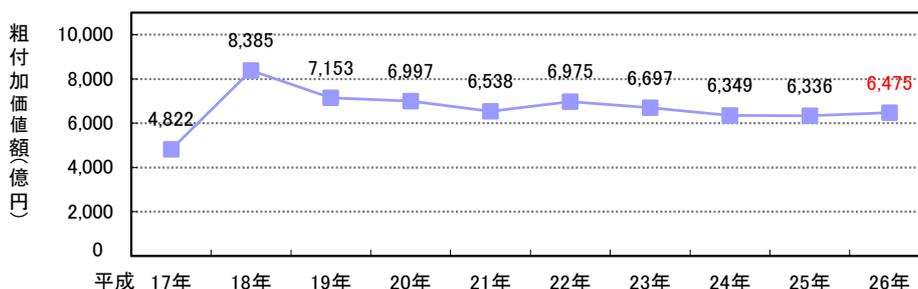
注:平成19年調査から調査項目が追加されたことにより、平成18調査以前の数値と接続しない。

(4) 粗付加価値額

粗付加価値額は、6,475億円で、前年に比べ139億円の増加(前年比2.2%)となり、3年ぶりの増加となった。

産業別では、全24産業のうち、電子部品(対前年増減額79億円)、鉄鋼(同63億円)、業務用機械(同36億円)など12業種で増加し、非鉄金属(同▲45億円)、輸送用機械(同▲31億円)、パルプ・紙(同▲31億円)など10業種で減少した。

図4 粗付加価値額の推移



注:平成19年調査から調査項目が追加されたことにより、平成18調査以前の数値と接続しない。